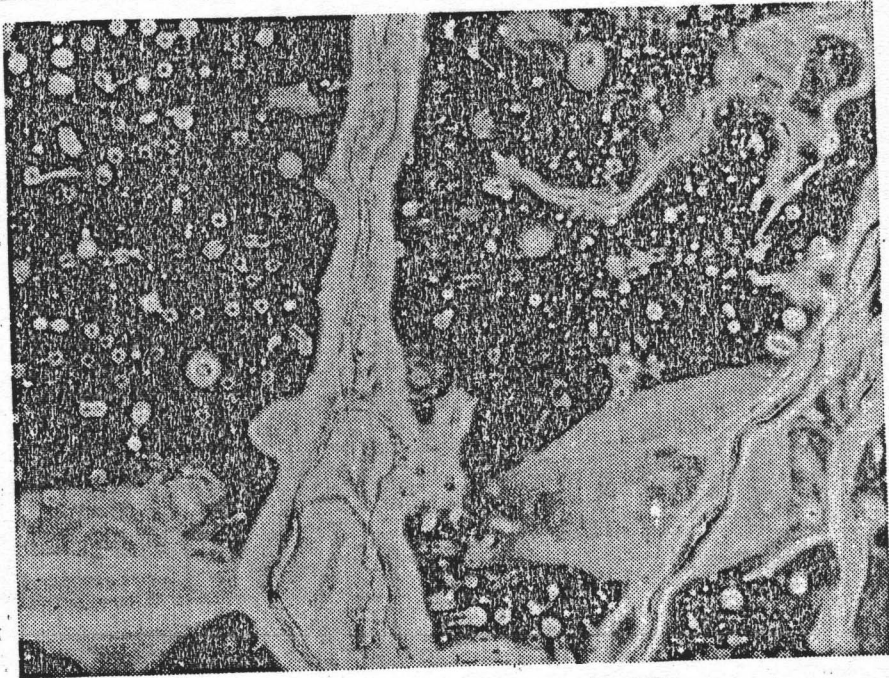


1988年(昭和63年) 3月11日 (金曜日)

毎日新聞 (夕刊)



アスベストの末路

かつては、アルコール・ラシブとともに、理科実験に欠かせなかった石棉(アスベスト)。それが今では、肺がんにつながる環境問題の元凶としてすっかり嫌われ者になってしまった。

写真は、そのアスベストを飛び散らないように閉じ込めたところ。清水建設が開発したアスベスト専用の封じ込め剤を吹きつけると

封じ込め剤を白アスベストに吹きつけ、顕微鏡でみると、こうなる。中央の糸のような構造のものが問題のアスベストで、そのまわりに薬剤がフィルム状に固まり、身動きがとれないようになっている。

薬剤の成分は企業秘密だが、自ら同社の建物で試して効果のほどを確かめたという。